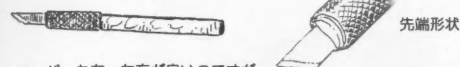


このキットを手に入れてくれた人全てに感謝しつつ、「プラモデルって超久し振りに」「初めてなんすけど」という方もおられると思うので、ちょっとだけ話を。あんまり語られていないけど、実は必要な事とか。

1. アートナイフ



ニッパーもあった方が良いのですが、それはハサミや爪切りでも代用できます。が、下端のような工作の為に必須です。

2. 耐水ペーパー

模型を売っている所で、「耐水ペーパー、細目セット」と言っていたら、3種類の耐水ペーパーのセットが手に入ります。400番、600番、1000番という3種類で、紙の形をしたヤスリです。これでごすると、細かい凸を削ることが出来ます。番号の数が多い程目が細くなり、こすった部分がツルツルになります。ネイルのつや出しヤスリを紙状にした物と考えて下さい。

3. 接着剤

これも、模型を売っている所で、「流し込みタイプの接着剤」と言っていたら、手に入ります。部品同士を組み合わせてから、合わせ目に流し込む事で接着出来ますが、揮発性の液体で、この気体が部屋に長時間充満するとあまりよろしくありません。模型を作る時は2時間に1度、部屋の換気を行って下さい。蓋も必ず閉めて下さい。ちょっと煩わしいのですが、これはお約束と言う事で、すみません我慢して下さい。

4. 塗料と筆

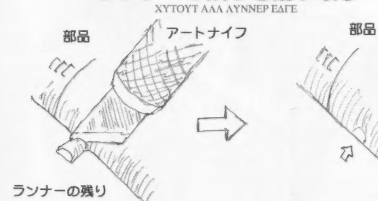
このプラモデルは、色を塗って仕上げて頂くと、より「良い感じ」になります。模型を売っている所で専用の塗料を買って頂く事になりますが、組み立て説明図に指定されている塗料はラッカー塗料と言いつて、揮発性の高い速乾性の物です。瓶入りの物と、スプレータイプの物があり、ボディなど、広い面積の物を綺麗に塗るのはスプレータイプが適していて、細かい部分には瓶入りの物を筆で塗るのが良いとされています。どちらも使い方にコツがいりますので御注意下さい。又、プラモデル用の塗料には他に、エナメル塗料と呼ばれる乾燥が遅い塗料と、水性塗料と呼ばれるアルコールを用いた塗料があり、混ぜる事が出来ませんので、これも御注意下さい。注意ばかりですみません。筆は、簡単です。新しい物が良い。プラモデル用の塗料は筆の毛を傷めますので、新品の筆で塗料を塗る事がとても大切。私は最近、DIYショップで色々な筆セット3本入りの物を買っていますが、とても使いやすい。高い物も良いのですが、新しい物に替え易い方が良いと思います。

5. 部品の切り取り

プラスチックモデルは、ランナーと呼ばれる枝状の枠に、部品がしっかりとついています。これを丁寧に切り取って、切り取った跡をなだらかに仕上げてしまえば、後はパズルのように組み立てていただくのですが、ちょっとばかり面倒臭いです。順を追って説明しますので、面倒臭いですが、我慢して作業してみてください。



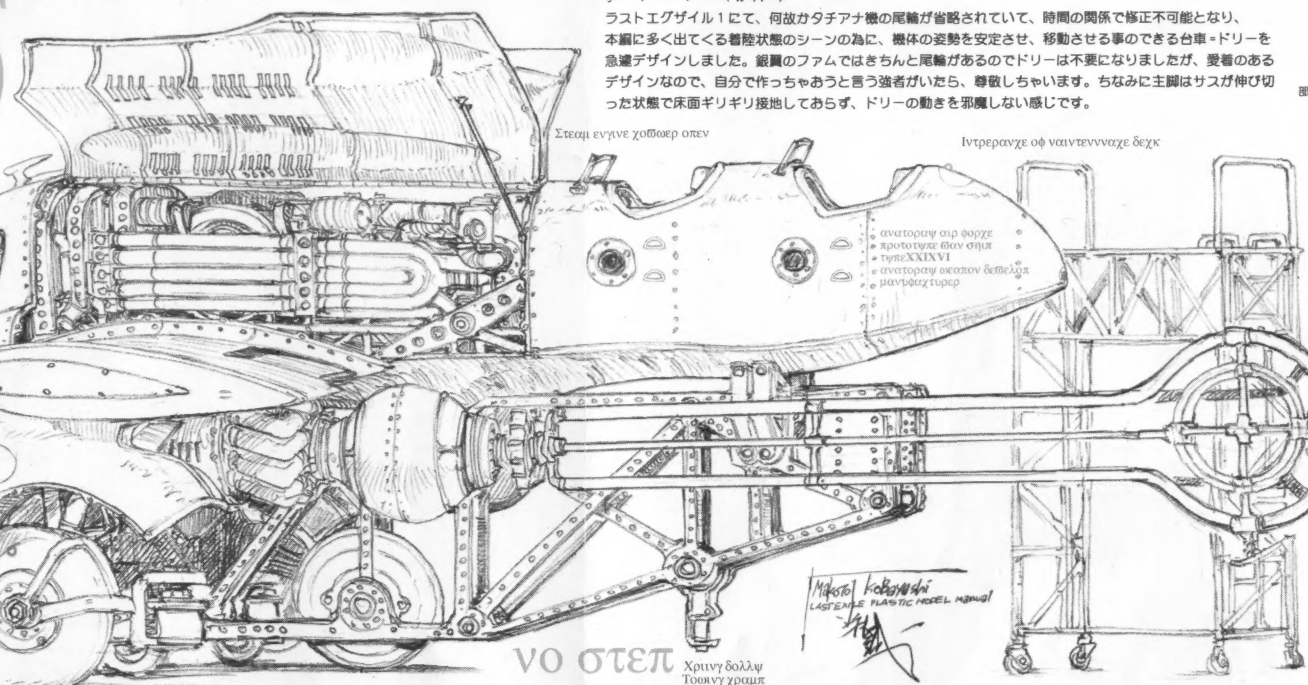
ランナーの残りを削り取る



ランナーの跡を綺麗に磨き落とす

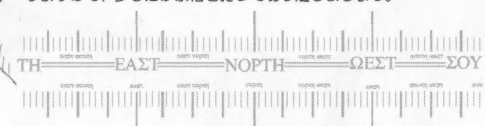
③ わずかに部品に残ったランナー部分を、今度は耐水ペーパーで磨き落とします。400番の耐水ペーパーに少し水を付けて、出来るだけ出っ張っている部分のみをこすります。出っ張りが無くなったかどうかは、指で触ってみるとわかりますし、こすった所が全体に白っぽくなる事で判別出来ます。次に、部品をやすった所の周辺を水を付けた600番の耐水ペーパーでこすります。これは削り取った表面を滑らかにするために、部品の上下を優しく20往復させる感じです。最後に、さらに表面を滑らかにするために水を付けた1000番の耐水ペーパーで、さっきこすった所より、やや広い範囲を20往復。部品には削った跡の白い粉が付きましますので、使わなくなった歯ブラシを使って、薄めた中性洗剤で表面を綺麗に洗い、水で流します。これで、ランナーの跡はすっかり消えます。！耐水ペーパーでこすっている時は、常にペーパーが水で濡れているようにして下さい。

ηοιστ ποιντ

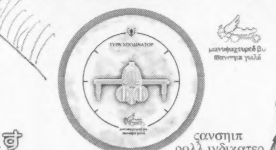


初めて作る方の為に

① ランナーと部品を切り離します。ニッパーで部品ギリギリを切断しますが、透明部品の場合はあまりギリギリを狙いますと、部品にヒビが入る事がありますので、少しだけ余裕を持って切り離しましょう。



② 部品に残ったランナー部分を、アートナイフで削ぎ落とす。部品の際を何回もなぞるように削ぎ取って下さい。プラスチックは意外と柔らかい物ですので、アートナイフの刃を全体に用いて切るように削ぐ感じです。少し出っ張りが残っているくらいで止めておきます。やり過ぎると部品を削り取ってしまう事になるので、注意して下さい。



③ わずかに部品に残ったランナー部分を、今度は耐水ペーパーで磨き落とします。400番の耐水ペーパーに少し水を付けて、出来るだけ出っ張っている部分のみをこすります。出っ張りが無くなったかどうかは、指で触ってみるとわかりますし、こすった所が全体に白っぽくなる事で判別出来ます。次に、部品をやすった所の周辺を水を付けた600番の耐水ペーパーでこすります。これは削り取った表面を滑らかにするために、部品の上下を優しく20往復させる感じです。最後に、さらに表面を滑らかにするために水を付けた1000番の耐水ペーパーで、さっきこすった所より、やや広い範囲を20往復。部品には削った跡の白い粉が付きましますので、使わなくなった歯ブラシを使って、薄めた中性洗剤で表面を綺麗に洗い、水で流します。これで、ランナーの跡はすっかり消えます。！耐水ペーパーでこすっている時は、常にペーパーが水で濡れているようにして下さい。

ζανσηπ αιτη δολλιν χαρριερ

ラストエグザイル1にて、何故かタチアナ機の尾輪が省略されていて、時間の関係で修正不可能となり、本編に多く出てくる着陸状態のシーンの為に、機体の姿勢を安定させ、移動させる事のできる台車=ドリーを急遽デザインしました。銀翼のファムではちゃんと尾輪があるのでドリーは不要になりましたが、愛着のあるデザインなので、自分で作っちゃおうと言う強者がいたら、尊敬しちゃいます。ちなみに主輪はサスが伸び切った状態で床面ギリギリ接地しておらず、ドリーの動きを邪魔しない感じです。

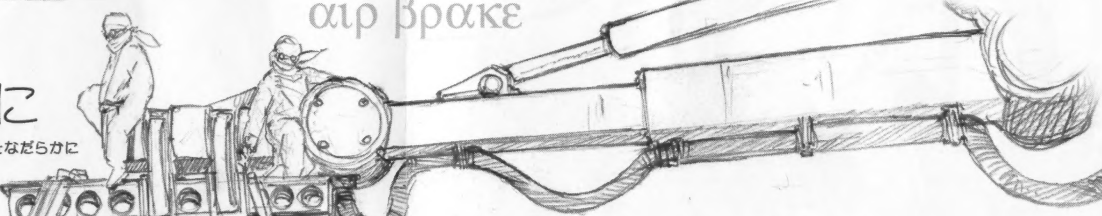
Σταθμ ενγινε χορσορ σπον

ιντερρανχε οφ ναντενναχε δεχε

Χρημυ δολλιν

Τοκινγ χρομπ

ΝΟ ΣΤΕΠ αιρ βρακε



ανατοραη αιρ φορχε προτοτυπε των σιηπ τυπε XXIXVI ανατοραη ωεαπον δεσελοπ μανυφαχτυρε



εμβλεμ οφ ανατοραη

Φλεμ ανδ ιντερπαρτα

λοοκ ουτ οφ σιηπ

Χραυδια χορε ψυντι

Καβορτε ροτατιον τυβε

Χρασηδε ζανσηπ
γιλντ戦闘機の総攻撃を受け、大破しながらも帰還、回収されたヴァンシッポ。
破損した機械は、構成素材、構造材、機能が剥き出しになり、見ている分には楽しい物です。
が、描く時にはそれなりに関心しています。これを再現出来るのも模型ならではの愉しみと言えますが、初心者向けには無いですね(笑)

6. 接着

切り離し、綺麗にした部品はよく乾燥させてから、組み立て説明書に指示されている通りに組み合わせます。組み合わせってから、部品の合わせ目に流し込み接着剤を、ボルトの蓋についている筆で流し込みます。胴体等の大きい部品は、流し込んだあと暫くは貼り合わせがしっかりとするまで輪ゴムを巻いてはがれないようにしておきます。逆に、小さな部品は接着剤のつけ過ぎに注意しましょう。でないと部品接合部から接着剤が流れ出してしまいますからです。万一接着剤が流れ出したら、拭き取らないで乾くのを待ちます。

！慌てて拭き取ると、部品の表面が著しく痛みますので、慌てずに乾かして下さい。

7. 塗装とデカール

スプレーより、筆塗をする人の方が多いと思うので、胴体の色の塗方だけ注意点を。胴体は、進行方向に対して直角な方に塗ってゆくのが基本です。瓶の塗料はひち一杯まで専用の薄め液を注ぎ、底の方に沈澱している成分をよくかき混ぜて下さい。筆を塗料に浸したらランナーに筆を付け、余分な塗料がドロッと垂れぬようしてから胴体部品に塗り付けます。いっぺんに全体を塗る必要はありません。又、部品の色が透けていても気にしないで、手早く塗料を塗り広げてゆく感じです。筆の塗料が無くなってきたら、それ以上塗るのを止めて、筆に再び塗料を付け、今塗った所から少し離れた所を塗ります。これを繰り返しますが、一度塗った所にもう一度塗料を塗る時、筆でこすると言うより、塗料を手早く塗り広げてゆく感じです。一度塗った部分は5分程乾かして、何度も塗り重ねてゆきます。下の色が透けなくなったら終了です。根気よくお願いします。デカールは、組み立て説明書に貼り方が解説されています。もし、空気がデカールの中に残ってしまったら、乾いてから新しいアートナイフの刃で小さな切れ目を入れて、その部分を水で濡らして1分待ち、濡らした綿棒で空気を切れ目から追い出すように押し当ててやると綺麗になります。ちなみに、塗装には幅広の筆ではなく、普通の毛の長い筆を使った方が塗りやすいです。又、裏技として、こういう作業は男子に手伝ってもらってもあります。きつと喜んでやってくれると思いますよ。男子諸君、宜しくお願いします。



εμβλεμ οφ σκπ πατεας

LASTEXILE FOR BEGINNERS

TEXT & ILLUSTRATION BY MAKOTO KOBAYASHI

©2011 GONZO/FAM PARTNERS

στανμ ενγινε χορσορ

χοχκπιε (τοιαν σεατ)

Νορμαλ θανσηπ

φροντ βολανσερ τυβε

Καβορτε ροτατιον τυβε

μαιν γεαρ εσηελ

Αλεστινγ φουκ ανδ ρεαρ γεαρ

θανσηπ αιτη τορπεδο

(ουτρυγερ ρεμωσεδ)

τορπεδο αδφυστινγ υνδερ βολανχε τυβε

στανμ βομβ αδφυστινγ υνδερ συβαινγ

Εξποσιον τυβε

δολιλλ ηεσεδ

στανμ νοζ ζεασ

Εξποσιον τυβε

αυρρακε χορσορ

Στανμ βομβ

Εξποσιον τυβε

αυρρακε χορσορ

Στανμ βομβ

Εξποσιον τυβε

αυρρακε χορσορ

Στανμ βομβ

Εξποσιον τυβε

αυρρακε χορσορ

Στανμ βομβ

Εξποσιον τυβε

αυρρακε χορσορ

Στανμ βομβ

Εξποσιον τυβε

αυρρακε χορσορ

Στανμ βομβ

Εξποσιον τυβε

αυρρακε χορσορ

Στανμ βομβ

Εξποσιον τυβε

αυρρακε χορσορ

Στανμ βομβ

Εξποσιον τυβε

αυρρακε χορσορ

Στανμ βομβ

Εξποσιον τυβε

αυρρακε χορσορ

Στανμ βομβ

L

A

S

T

Fam, THE SILVER WING

E

X

I

L

E



L

A

S

T

E

X

I

L

E

ILLUSTRATED BY RANGE MURATA



©2011 GONZO/FAM PARTNERS